だっぺとちぎ

JA全農とちぎ 通信

2024
1
Vol.274

特集

2024年 年頭のご挨拶
地域貢献・社会貢献活動

トピックス

「出向く活動」強化に向けて
加工用馬鈴薯生産者がカルビー工場を見学
第40回 栃木県肉用牛総合共進会
宇都宮産ユリの展示即売会を開催
高品質なビール大麦生産に向けて
すき屋の牛丼で栃木県産米消費拡大!
ガチャガチャイベントで新米のおいしさPR
消費者にとちぎ和牛の美味しさアピール

CONTENTS

・お知らせ
「とちぎ和牛」を食べて畜産農家を応援!
とちぎ和牛プレゼントキャンペーン実施中!
・簡単レシピ
『ねぎ巻きロール味噌カツ』
・子牛市場情報
・JAタウンからのお知らせ
・行事予定
・編集後記

©栃木県 とちまるくん

JAグループ栃木／JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2024年 年頭のご挨拶

全農栃木県本部　運営委員会会長
菊　地　秀　俊

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

さて、ロシアのウクライナ侵攻は今もなお続き、食料、エネルギーや原材料等の国際価格上昇と食料安全保障が大きな課題となっています。農業の現場においても、生産資材や飼料、燃料等の価格高騰による大きな打撃を受ける中、JAグループ栃木では、価格高騰に対応する国や県による対策の実施を要請するとともに、組合員が支援措置を確実に受けられるよう取り組みを進めました。

一方、政府・与党は、農業・農村基本法の見直しを進め、１月以降の通常国会において関連法案を含めた基本法改正案が提出される見通しであります。私たちJAグループは、今こそ国民が消費する食料は国内で生産する『国消国産』の国民理解の醸成と、将来を見据えた食料安全保障の確立・強化、また再生産に配慮した農産物の適正価格形成に向け、引き続き国への要請等に取り組んでまいります。

また、米の情勢では、生産者の皆様に主食用米から飼料用米への作付転換に協力いただき、さらに、業務用を中心に需要が高まったことから、米の在庫は改善し、令和５年産の県下JAの米概算金は、令和４年産を上回る水準となりました。生産資材高騰の中、生産者の皆様が安心して営農を継続できるよう、今後とも需給改善に努めてまいります。

農業情勢に加え、JAを取り巻く環境は、人口減少や金融情勢等により年々厳しさを増しています。こうした状況の中、今年は３か年計画の最終年度として、『持続可能な食料・農業基盤の確立』『持続可能な地域・組織・事業基盤の確立』『不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化』など５つの重点取組事項に取り組みます。

さらに、今年は３年に一度のJA栃木県大会を開催し、これまでの取り組みを総括して新たに次期３か年の目標を決定する重要な年になります。JAグループ栃木が一体となって、不断の自己改革の実践をさらに進化させていきましょう。

結びに、本年が皆様方にとりまして良き１年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

2024年 年頭のご挨拶

全農栃木県本部　県本部長
中　村　昌　文

新年あけましておめでとうございます。生産者、JA、関係団体の皆様におかれましては、新たな気持ちで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウィルスが５月に感染法上の５類に引き下げられたことから、社会・経済活動が徐々に回復してきました。一方で、ロシア・ウクライナ問題は依然として終息の兆しは見えず、また円安基調が続き、食料品やエネルギー価格が値上がりしていることから、消費者の生活防衛意識は高まっております。

農業分野においても、担い手の減少や高齢化の進行に加え、肥料や飼料などの資材価格の高騰が長期化しており、農畜産物の価格は生産資材の値上がりに追いついていない状況が続いています。

このような中、栃木県本部としては、農業生産基盤の維持・拡大を図るため、担い手への対応強化や新規就農支援、革新的技術の普及・推進、生産性向上やコスト低減、省力化などの提案に積極的に取り組みました。
また、販売面では、生産者と実需者・消費者との関係強化を促進する交流会や懇談会等を開催し、適正価格に対する理解醸成に取り組むとともに、契約販売や実需者への直接販売の拡大など、販売力強化による生産者手取りの向上に取り組んできました。

今後も、需要に応じた生産と、県産農畜産物の認知度向上、販路拡大や消費拡大に取り組んでまいります。

2024年は、現行の食料農業農村基本法が四半世紀ぶりに見直されることとなっています。農業の持続性を高め、食料の安定供給を確保するために、引き続き販売力の強化、トータルコストの低減に取り組むとともに、新法に対応した生産基盤の維持・拡大を支援してまいります。

また、運転手の時間外労働の規制など物流の「2024年問題」を踏まえた物流の適正化・効率化に向けた迅速な対応と、「とちぎグリーン農業推進方針」をはじめとする環境保全型農業の普及に取り組んでまいります。

さらに、本年３月には全国で初めてとなる複数JAの複数品目を取り扱う青果物広域集出荷施設の本稼働を予定しています。JAグループの総合力・組織力を発揮して、目的である生産者手取りの最大化と生産基盤の維持拡大を実現してまいります。併せて、作付けが拡大する「とちあいか」の認知度向上とブランド確立に取り組んでまいります。

活力ある産地とちぎを未来につないでいくため、中長期的な視点で策定した「栃木県本部2030年ビジョン」にもとづき、JAと一体となって農家組合員に寄り添い、持続可能な農業と地域社会の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

2024年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

特集

地域貢献・社会貢献活動

NHK歳末たすけあい募金を寄付しました

全農グループでは、社会貢献活動の一環として、全国統一で「NHK歳末たすけあい募金」活動に取り組んでいます。

栃木県本部では12月7日、高瀬管理部長が栃木県共同募金会を訪れ、中川常務理事事務局長へ募金を寄付しました。

今年も昨年同様に、県本部の職員やジェイエイ栃木ライフ・JAグリーンとちぎ・JAエルサポートの社員へ協力を募り、合計**416,329円**を寄付することができました。

募金は県共同募金会を通じて、県内の児童養護施設や福祉施設などに入所する方々の支援や、施設でのクリスマス会や新年会などの歳末事業に役立てられます。

贈呈の様子（県共同募金会の中川常務理事事務局長㊨）

車いすテニス 眞田選手 女子レスリング 鏡選手 に県産農畜産物を贈呈

営農販売企画部は、テニス全米オープン車いすの部男子ダブルスで優勝した本県出身の眞田卓（さなだ たかし）選手・レスリング世界選手権大会女子76kg級で優勝した鏡優翔（かがみ ゆうか）選手へ県産農畜産物を贈呈しました。

眞田選手、鏡選手に対する「栃木県知事特別表彰授与式」が12月12日・18日に行われ、それに併せて本会運営委員会の菊地会長より「とちぎの星」「とちぎ和牛」「とちあいか」が贈られました。

眞田選手・鏡選手はそれぞれ「地元の素晴らしい農畜産物を食べて力をつけ、その姿を全国にアピールしたい」、「特にお米は大好きなので嬉しい。しっかり食べて力をつけたい」と話しました。

菊地会長は「おいしい県産農畜産物を食べて、今後も体調に気を付けて挑戦を続けてほしい」とエールを送りました。

眞田選手（中央）へ県産農畜産物を贈呈（12日）

鏡選手（中央）へ県産農畜産物を贈呈（18日）

「出向く活動」強化に向けて

「出向く担当者パワーアップ栃木県大会」を開催

営農販売企画部は12月5日、宇都宮市で、「出向く活動」の一層の活性化に向けた「出向く担当者パワーアップ栃木県大会」を開催しました。県内JAのTACや営農指導員、営農経済渉外員などの「出向く担当者」のほか、常勤役員らも参加し、合計約90名が出席しました。

本会担い手支援課から、県内の出向く活動や事業間連携の取組み状況の報告、人材育成・担い手支援事業についての情報提供を行った後、JAはが野・JAしおのや・JAなす南の代表者がそれぞれ事例報告を行いました。

JAはが野　飯田主任

JAしおのや　小川課長

JAなす南　園部さん

JAはが野の飯田主任は、ACSH（アクシュ）の設立経緯や新規就農者への重点支援などの活動内容を発表しました。

JAしおのやの小川課長は、経営基盤確立強化の取組みとして発足した「肥料・農薬シェア拡大プロジェクトチーム」の活動について発表しました。提案を通じて実績につなげ、渉外員同士で相談し合える環境をつくる重要性を語りました。

JAなす南の園部さんは、新規就農者の支援に携わった経験を、失敗談を交えて報告しました。

本会運営委員会の国府田副会長からは「担い手の課題や悩みに寄り添い、解決に導く役割が求められている。課題や悩みを共有化しながら、チームワークを発揮して活動を進めてほしい」と挨拶がありました。

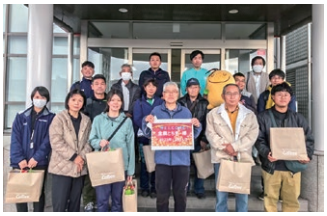
今後も各JAの特色を生かして連携を図りつつ、県全体で「出向く活動」を盛り上げてまいります。

加工用馬鈴薯生産者がカルビー工場を見学

営農販売企画部は12月11日、県内の加工用馬鈴薯生産者を対象にカルビー新宇都宮工場での見学会を実施しました。

会社概要の説明後、集荷されてきた馬鈴薯が洗浄、選別、トリミング、スライス、フライ、ピッキング、味付け、袋詰めされる状態までの一連の流れを見学しました。

見学後には意見交換会が実施され、買取価格に影響する比重(馬鈴薯に含まれるデンプン量)が高いほど製品化率も高くなることを学び、高品質な馬鈴薯生産へ意識の統一が図れました。また、同工場では県内生産者が今年出荷した馬鈴薯を数日間で使い切ってしまう現状報告を受け、更なる生産拡大の機運も醸成できました。



参加した生産者は「自分の作った馬鈴薯がどのように使われているかを知ることができ、貴重な経験となった」と話し、カルビーとの取組みについて更に理解が深まりました。

今後も、加工用馬鈴薯の栽培及び収量確保に向けて産地支援を強化してまいります。

TOPICS

第40回 栃木県肉用牛総合共進会

11月24日・30日の2日間、東京都中央卸売市場食肉市場において、(一社) とちぎ農産物マーケティング協会主催の「第40回栃木県肉用牛総合共進会」が開催されました。

24日に行われた交雑種の部の審査では、出品された23頭のうち、JAうつのみやの松山敏幸さんが最優秀賞を獲得しました。

また、30日に行われた黒毛和種の部の審査では、出品された47頭のうち、JAしもつけの (同) たむら畜産が最優秀賞を獲得しました。

今回の黒毛和種の部ではすべての出品牛がAB4等級以上、5等級発生率は9割を超え、栃木の生産者の努力と肥育技術の高さがみえた非常にレベルの高い共進会となりました。

受賞者の皆さんおめでとうございました！

【交雑種の部】 (敬称略)

	受賞者	管内JA
最優秀賞	松山　敏幸	JAうつのみや
優秀賞1席	松山　敏幸	JAうつのみや
優秀賞2席	(株)小池畜産	JAしおのや
優良賞1席	伊沢　訓男	JAおやま
優良賞2席	(株)手塚畜産	JAしおのや
優良賞3席	(株)長谷川農場	JA足利

【黒毛和種の部】 (敬称略)

	受賞者	管内JA
最優秀賞	(同)たむら畜産	JAしもつけ
優秀賞1席	山ノ井　亮司	JAかみつが
優秀賞2席	(株)シノザキ牧場	JAうつのみや
優良賞1席	(株)手塚畜産	JAしおのや
優良賞2席	篠塚　邦善	JAうつのみや
優良賞3席	篠﨑　孝行	JAおやま
優良賞4席	和久井　和一	JAかみつが
優良賞5席	松本　一男	JAおやま

黒毛和種の部最優秀賞
「(同)たむら畜産」の田村舜司さん

宇都宮産ユリの展示即売会を開催

園芸部は12月15日、JAうつのみやと連携し、東京都大田市場内にある花き市場 (株式会社フラワーオークションジャパン) にてユリの展示即売会を開催しました。

JAうつのみや球根切花専門部員やJA担当者、本会園芸総合課の職員が店頭に立ち、訪れた花屋さんや仕入れ業者 (買参人、仲買人) へ宇都宮産オリエンタルユリの魅力をアピールしました。大輪の花が特徴のオリエンタルユリに多くのお客様が足を止め、合計500本以上のユリが販売されました。

高品質なビール大麦生産に向けて

米麦部は12月18日、ホテルニューイタヤで「令和5年度栃木県ビール大麦生産・品質対策会議」を開催しました。ビール会社やビール酒造組合、県など約30名が出席し、令和5年産ビール大麦の総括と令和6年産に向けた生産・品質対策について協議しました。

本所からは国産麦の情勢報告があり、県からは令和5年産の生育概況や農業試験場でのビール大麦の栽培試験の概要および検討状況についての情報提供がありました。栃木県本部からは受渡状況や生育・品質対策について報告を行い、品質対策の面では、荷受・出荷製品それぞれのサンプルを用いた蛋白分析の方法とその結果を説明した上で、今後の対策としては、基準内の蛋白値の高い割合を増やすことや品質事故の発生防止などに取り組むことを確認しました。

各ビール会社からは、令和5年産の品質評価や今後の管理に対する要望が寄せられ、「品質は概ね良好なので、引き続き異物混入対策なども含め、管理の徹底をお願いしたい」といった声がありました。

すき屋の牛丼で栃木県産米消費拡大！

JAまつりにキッチンカーを出店

パールライス部は、県産米の美味しさをより多くの方に知っていただくため、株式会社ゼンショーホールディングス様の「すき家」と連携し、11月に開催されたJAはが野のJAまつりに「すき家キッチンカー」を4年ぶりに出店しました。

「JAはが野産コシヒカリ」を使った牛丼並盛を特別価格で販売し、店頭では本会職員がお客様へ本取組をPRしました。

お客様からは「地元のお米を使ってくれて嬉しい。余計においしく感じる」とコメントをいただきました。

現在すき家では、栃木県産米のつや・香り・食味の良さをご評価いただき、県内全店で「県産コシヒカリ」をご使用いただいております。今後もゼンショーホールディングス様と連携し、県産米の消費拡大に向けた取り組みを進めてまいります。皆様もお近くのすき家で牛丼を食べて、県産米の消費拡大にご協力ください！

ガチャガチャイベントで新米のおいしさPR

かつ盛・虎の門・虎次郎で新米フェア

パールライス部は、県産米の消費拡大と認知度向上を促進するため、株式会社宮食様とタイアップし、「かつ盛・虎の門・虎次郎」にてガチャガチャイベントを実施しました。

新米の時期に合わせた11月の1か月間、お米を使用したメニューをご注文のお客様を対象に実施し、期間中5店舗合計で約3,000組のお客様にご参加いただきました。

店舗スタッフからは「小さなお子様はもちろん、サラリーマンや常連さんまで幅広いお客様に楽しんでいただけた」との感想をいただき、同社の山口社長からは「イベントを通して新米をお客様へ印象付けることができ、店舗の売り上げも上がった。今後も協力して栃木県産をさらに盛り上げていきたい」とコメントをいただきました。

「かつ盛・虎の門・虎次郎」では県産コシヒカリをはじめ、「とちぎ和牛」や「とちぎゆめポーク」などの県産農畜産物を多くご使用いただいておりますので、皆様もぜひ足をお運びください！

消費者にとちぎ和牛の美味しさアピール

とちぎの食肉まつりに試食提供・ブース出店

全農とちぎブースの様子

消費者へ試食を配布する「とち和会」の横尾会長

畜産部は12月2日、3日に宇都宮市城址公園で開催された「とちぎの食肉まつり2023」に「とちぎ和牛」10キロ、「とちぎゆめポーク」10キロを提供しました。提供したお肉は、来場された多くのお客様に試食として振舞われました。

また、ブースでは「とちぎ和牛ビーフシチュー」「とちぎの星おにぎり」を特別価格で販売しました。大変ご好評をいただき、用意したビーフシチュー計200食、おにぎり計300食は瞬く間に完売しました。

2日は、とちぎ和牛若手経営者組織「とち和会」の横尾会長、幹事の町井さんが試食の焼肉を自ら消費者へ振舞いました。「とち和会」が発足して以来、消費者に対して直接的なPR活動を行ったのは今回が初めてとなりました。

お知らせ

「とちぎ和牛」を食べて畜産農家を応援!
とちぎ和牛プレゼントキャンペーン実施中!

県内のオータニで「とちぎ和牛」のプレゼントキャンペーンを実施中です!
期間中に、県内のオータニ13店舗で「とちぎ和牛」をお買い上げいただいたお客様が対象となります。
皆様も対象店舗で「とちぎ和牛」をご購入いただき、キャンペーンにご参加ください♪

キャンペーン期間 2023年12月15日(金)～2024年1月14日(日)

応募箱設置期間 2023年12月15日(金)～2024年1月20日(土)

対象店舗 県内オータニ13店舗
(平松店、駅東店、鶴田店、江曽島店、戸祭店、自治医大店、西那須野店、喜連川店、五代店、荒町店、大沢店、永田店、小山店)

対　　象 上記対象店舗で「とちぎ和牛」精肉品をお買い上げいただいたお客様

応募方法 「とちぎ和牛」トレイパックに貼付されている応募シールを応募用紙に貼り、必要事項をご記入の上、店頭設置の応募箱にお入れください。

景　　品 ①とちぎ和牛ロース焼肉用(冷蔵)450g…15名様
②とちぎ和牛切り落とし(冷蔵)450g ……20名様

お問い合わせ JA全農とちぎ　肉牛販売課　TEL:028-689-9033(土日祝除く9:00～17:00)

簡単レシピ

ねぎ巻きロール味噌カツ

(アドバイス表2023年1月魚コースP31)

〈材料〉(2人分)

- 豚ロススライス …… 200g
- 小麦粉 …… 適量
- 長ねぎ(斜め薄切り) …… 1本
- 卵(溶く) …… 1個
- 小麦粉、パン粉 …… 適量
- 油 …… 適量

Ⓐ
- 水 …… 大さじ6
- 砂糖、みそ …… 各大さじ2
- みりん …… 大さじ1と1/2
- 酒 …… 大さじ1
- 和風だしの素 …… 小さじ2

■作り方■

1. 豚肉は縦に2枚ずつ少し重ねて広げ、薄く小麦粉を振る。
2. ①の手前に長ねぎをのせ、きつめに巻く。小麦粉・卵・パン粉の順に衣を付け、熱した揚げ油で色よく揚げる。
3. 小鍋にⒶを入れて、混ぜながら弱火でとろみがつくまで煮詰める。
4. ②を食べやすく切って器に盛り付け、③を添える。

ポイント!

栃木推進課 管理栄養士
松原舞子さん

長ねぎに含まれる硫化アリルにはビタミンB1の吸収を高める働きがあるので、ビタミンB1が多く含まれる豚肉と組み合わせると効率よく栄養を摂取することができます。

ふれあい食材についてはこちらから!

子牛市場情報　令和5年度12月矢板家畜市場成績書

	性　別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	171	170	1,013,100	212,300	512,211	295(296)	1,732	37,071
	雄	1	0	–	–	–	–	–	–
	去　勢	206	200	1,009,800	220,000	653,752	324(293)	2,014	−54,481
	合　計	378	370	1,013,100	212,300	588,720	311(295)	1,891	−17,162
2日	雌	185	184	914,100	128,700	519,325	291(297)	1,784	41,008
	雄	–	–	–	–	–	–	–	–
	去　勢	204	201	1,101,100	288,200	629,276	321(295)	1,957	3,203
	合　計	389	385	1,101,100	128,700	576,728	306(296)	1,878	20,351
12月期合計	雌	356	354	1,013,100	128,700	515,909	293(297)	1,759	39,143
	雄	1	0	–	–	–	–	–	–
	去　勢	410	401	1,101,100	220,000	641,483	323(294)	1,986	−27,184
	合　計	767	755	1,101,100	128,700	582,605	309(295)	1,885	1,211

概況

12月の矢板家畜市場は、767頭上場にて755頭が成立し、前年同月比27頭増となりました。平均価格は対前月比雌39,143円高、去勢27,184円安となりました。
枝肉相場の上昇もあり、特に雌について活発な取引となりました。

購買者数　1日目：137人　　2日目：141人

○次回開催/2024年1月11日～12日　出場予定:各350頭(2024年2月の開催は、1日・2日です。)

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ

季節商品のご紹介

「とちおとめ」

栃木を代表する名産品「とちおとめ」の登場です！粒は大きく、味は甘く、果肉はやわらかくジューシー♪

冬の時期の贈り物にもぴったりです★こだわりぬいた栃木のとちおとめを是非ご賞味ください。

他にも厳選した『とちぎの味』を取り揃えております♪

JAタウン

だちつぞとちぎ新鮮倉庫

とちぎ新鮮倉庫　検索　クリック

1月の行事

- 11日(木)　矢板子牛市場
- 12日(金)　矢板子牛市場
- 14日(日)　役職員ボウリング大会
- 14日(日)　いちご王国・栃木の日記念イベント
- 20日(土)　全農杯サッカー地区予選大会
- 27日(土)　とちぎの星イベントinベルモール
- 31日(水)　青果物広域集出荷センター竣工式

★3日・10日・17日・24日・31日　RADIO BERRY(17:15～)

編集後記

明けましておめでとうございます。1年間はあっという間で、気を抜くと時代の変化に置いて行かれそうになります。そんな中で今回は、昨年話題になった生成AIに年始の挨拶というテーマで作文してもらいました。すごいです。

新しい年がやってきました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。さて、私がこの時期になると特に食べたくなるものが「おしるこ」です。おしるこは甘くて、もちもちとした食感がたまらなく美味しいです。毎年お正月になると、家族でおしるこを作ります。きな粉をたっぷりかけていただくと、心がほっと温まります。おしるこを食べながら、新しい年の抱負を考えるのも楽しみです。今年もたくさんの幸せが訪れることを願いながら、おしるこを頬張るのでした。

(みう)

たべつづけとちぎ
2024
1
Vol.274
JA全農とちぎ通信　令和6年1月1日発行

とちぎ和牛
プレゼントキャンペーン

2023-2024 冬

「とちぎ和牛」を食べて畜産農家を応援しよう！

オータニ13店舗で「とちぎ和牛」を対象期間中にお買い上げ頂いたお客様がキャンペーンの対象となります。ご応募いただいた中から抽選でとちぎ和牛をプレゼントいたします。

とちぎ和牛とは…

とちぎ和牛には3つの定義！

1. (一社)とちぎ農産物マーケティング協会の承認を受けた指定生産者が生産した牛であること
2. (公社)日本食肉格付協会による枝肉格付で、A・B4等級以上に格付されたものであること
3. 肥育後期に米を含む飼料で肥育していること

キャンペーン期間

2023年 12/15(金)～2024年 1/14(日)

応募箱設置期間：2023年12月15日(金)～2024年1月20日(土)

応募方法

「とちぎ和牛」トレイパックに貼付されている応募シールを応募用紙に貼り、必要事項をご記入の上、店頭設置の応募箱にお入れください。

※当選の発表は厳選な抽選により賞品の発送をもってかえさせていただきます。

対　象

「とちぎ和牛」精肉品をお買い上げいただいたお客様

1 とちぎ和牛肩ロース焼肉用(冷蔵)450g　15名様

※写真はイメージになります

2 とちぎ和牛切り落とし(冷蔵)450g　20名様

※写真はイメージになります

応募シール(見本)

【キャンペーンに関するお問い合わせ】　JA全農とちぎ 肉牛販売課 TEL 028-689-9033
【主催】　㈱オータニ／JA全農とちぎ

たべつづけとちぎ

編集・発行／JA全農とちぎ 企画管理課
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9番地25　TEL 028(616)8804
https://www.zennoh.or.jp/tc/

ちきゅうにやさしい みどりをまもる
VEGETABLE OIL INK　この印刷物は環境にやさしい植物油インクと再生紙を使用しています。
私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。
私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。